



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成4年3月1日現在)

総人口23,724人(△21)	出生 12人
男 11,089人(△12)	死亡 18人
女 12,635人(△9)	転入 65人
世帯数 8,426 (△4)	転出 80人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長



黎明の朝……世界へつづく加治木の港

加治木の黎明

東の山から素顔をのぞかせた未だ覚めやらぬ朝の陽が、一瞬、未明の錦江湾に一条の光を放つ。それが徐々に広が

り、大きな光の輪となって、加治木のまちを包み込む。

——二十一世紀に向け飛躍する「加治木の黎明」を告げる光である。

町新総合振興計画には、海洋プロジェクトも折り込まれている。朝日に映えた青い絨

毯のような海原は、はてしなく広がる世界をめざして進んでいくのだ。

加治木港の朝はいつも活気に満ち、潮風に焼け元気に働く人たちの息吹きを感じる。

——キラキラと輝く瞳は、希望にあふれている。

今月のページ

☆議会報告……2㊦ ☆滝の上に公園……3㊦ ☆施政方針……4㊦ ☆施策の大綱……5～10㊦ ☆木田振興地区の現状……11㊦ ☆個人情報記録項目公表……12～13㊦ ☆椋文学記念賞受賞式……15㊦ ☆ジョギング大会……16～17㊦ ☆まちの話題……18～19㊦ ☆カメララボ……20㊦ ☆随筆……21㊦ ☆ゴミシーズ……22～23㊦ ☆おしらせ……24㊦

平成4年

4

月号

議会報告 Ⅱ 第一回定例会 Ⅱ

平成四年度当初予算

五十六億三千六百万円を可決

第一回町議会定例会は、三月十一日から三十日までの二十日間の会期で開催され、平成四年度の五十六億三千六百万円の当初予算や、「町営公衆浴場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件」などの使用料及び手数料などに消費税相当額を転嫁する条例の保険条例の一部を改正する条例制定の件」など三十七件の議案を原案どおり可決しました。

温泉保養施設は三億九千万円

▽……川原住宅を建設……△

第一回町議会定例会で、温泉保養施設建設に伴う工事請負費や備品購入費など、三億三千五百十二万四千円が追加、可決されました。総額は、三億九千五百五十五万三千円となっています。

この温泉保養施設は、今秋にはオープン予定で、龍門滝周辺観光に花をそえる立派な施設。滔々と流れ落ちる滝の水しぶきを浴び、

優雅な気分がゆつくりと湯にひたれるすばらしい温泉です。

また、川原住宅の建て替え（四〇五年度建設）に伴う総工事費、四億八千九百七十七万二千円も可決されました。

本年度は、まず現在の住宅を解体し、鉄筋四階建、一種十二戸、二種十六戸を建設する予定で、五年度に完成します。

使用料及び手数料を改正

消費税相当額を転嫁

国は消費税導入を平成元年度から実施していますが、本町は平成四年度から実施することになり、

第一回町議会定例会で、その関係条例の改正案が可決されました。そのため、使用料及び手数料の

額に消費税相当額が転嫁され、次のように改正されました。

（主なもの）

〔町営温泉の使用料〕

大人 休憩室 一日 三二〇円

入浴料金 一回 二二〇円

小人 休憩室 一日 一六〇円

入浴料金 一回 一〇〇円

入浴料金 一回 六〇円

〔樟鳩十文学記念館入館料〕

個人 大人（高校生以上） 三二〇円

小人（小・中学生） 二二〇円

団体（一五人以上）

・大人二六〇円 小人一〇〇円

〔学校施設、町営体育館、町営運動場、町営弓道場、生活改善センター、農産物加工センター等の使用料〕

総使用時間に百分の百三をかけ、十円以下を四捨五入した額

〔乗合自動車料金〕



第一回 定例町議会

そのほかの

主な改正点

京セラの研修施設

丸岡地区に建設

本町が念願していた研究施設や研修施設の誘致が実現し、京セラ（株）の研修施設が西別府の丸岡地区に建設されることになり、町議会定例会で企業用地取得造成事業特別会計が設置されました。

内容は、まだ具体的には決定していませんが、収容人員は二百人余りの予定。また、この施設は日本全国にある京セラの職員一万二千人余りを対象とした施設で、この施設が完成すると年間約二万人が利用することになります。

助産費用が

二十四万円に

これまで、国民健康保険の被保険者が出産したときは、十三

大人二二〇円 小人一〇〇円

そのほか、健康トレーニングセンター使用料や、じんかい処理手数料、地域下水処理使用料、道路占用料、都市公園の使用料、町営駐車料金なども改正されました。

また、福祉センターや、ふれあい物産館の使用料が消費税転嫁と併せて改正されました。

万円の助産費用が支給されていましたが、第一回定例会で国民健康保険条例の一部改正が行われ、その額が二十四万円に引き上げられました。

精神薄弱者の方も

減免乗合自動車の

料金を改正

加治木町乗合自動車乗車料条例の一部改正が可決され、料金の割引（五割以内）を行う範囲に精神薄弱者療育手帳の保有者が加えられました。

〔料金〕大人 二百十円→百円

小人 百円→五十円

町営住宅の

家賃を改定

昭和五十五年度までに建設された六百五十二戸を対象に、平均二十七パーセント引き上げられました。

〔例〕昭和30年度建設の朝日町

住宅・母子向

二、七〇〇円→四、一〇〇円

昭和55年度建設の春日団地

二、三、五〇〇円→二、四、〇〇〇円

幼稚園の保育料は

四、七〇〇円

加治木町立幼稚園の保育料等徴収条例が一部改正され、保育料が四、四〇〇円から四、七〇〇円に引き上げられました。





一直線に伸びる木田本通線

木田本通線と国道が直結

「新生こ線橋」が完成

木田本通線の区間内にある鉄道と立体交差する「新生こ線橋」が完成し、三月十日に竣工式が開催されました。

式典で、宇都宮町長は「木田地区の開発に伴い、地域内の交通量も増加の傾向にあり、また現在整備中の木田振興地区への延長路線（海浜通線）と直結されることにより、交通網の円滑化が図られ、今後この地区はますます市街化する

ことが予想されます」などとあいさつしました。

また、この「新生こ線橋」の名称は、町民のみなさんから募集し

たもので、応募総数五十点の中から、福元スミ子さん（新中）と今蘭純子さん（西反土後）の二人が選ばれ、竣工式の席上記念品と金一封が贈られました。

この「新生こ線橋」は、昭和四十六年に都市計画決定された、木田地区を縦断する木田本通線の区間内にあり、その路線が鉄道と交差するため、工事が先送りになっていましたが、昭和五十七年度に立体交差型として、総工事費十一億六千万円を投じて着工したもので、延長五百三十八メートル、基本幅員十二メートルのりっぱな橋です。



お待ちしております

スベリ台やブランコを設置

龍門滝の上に公園が

龍門滝の上の水の落ちるほとりに、子供たちが楽しく遊べる公園が完成しました。

これは、町民のいこいの場、保健休養の場として、また自然とのふれあいを楽しんでもらおうと、県ふるさとの森づくり事業（七百平方メートル・工事費一千五百万円）を利用して作られたもので、三月二十五日に完成。スベリ台やブラン

コの遊具や、東屋、ベンチなどが設置されました。

龍門滝の森は、「森林浴の森七〇選」に指定された所で、公園内には色あざやかな四季の花を咲かせるサクラ、イロハモミジや、クスなどが植樹されました。周囲は真新しい木柵で囲まれて安全です。おべんとう持参で、家族連れでお楽しみください。

第2回

加治木町ほたるを みるタベ



5月16日(土)
午後6時30分
木田・隈姫神社下

♪ほたるの宿は 川ばたやなぎ…………♪

昔なつかしいほたるが 今年も
姿を見せてくれました。

家族そろって ほたるの幻想的な光りの祭典を
楽しみませんか。

6時半 琴演奏
7時 ほたるの生態に
ついての話
7時半～ほたる観賞



主催 加治木町ホタルを育てる会
後援 鹿児島県ホタルを育てる会
加治木町教育委員会

二十一世紀へ飛翔!

世界の加治木をめざして

針 方 施

宇都宮町長は、三月十一日開会された第一回町議会定例会で、「活気に満ちた住みよい町づくり」のために「人、物、技術の交流する町づくり」「豊かな教育と文化あふれる町づくり」「安心して住める健康な町づくり」「自然と調和する快適な町づくり」「個性あふれる産業振興の町づくり」「行財政」の六つの大綱を柱とする平成四年度の施政方針を説明しました。(紙面の都合で、一部省略して掲載します)

内外に開かれた交流拠点 加治木 活気に満ちた

住みよい町づくりを

新しい世紀に向けて策定いたしました町総合振興計画がスタートした一九九一年度も、まさに幕を閉じようとしておりますが、この間、事業推進にあたりましては、議会をはじめ、住民各位、各界の御支援と御協力をいただき、職員一丸となってその推進に取り組んでまいったところでございます。

おかげさまで、数々の事業が完成、及び着手のはこびとなりました。中でも、木田本通線の開通、温泉保養施設の着工、海浜通線及び岩原西通線の着工、単人加治木線ハイウェイの開通、農業振興地域の見直し等、また、念願の研修

施設の誘致、覚書の締結、一方、労働基準監督署、(株)九州電力の移転阻止など、ほぼ目標通りの成果であったと自負いたしておるところでございます。

さて、一九九二年度は総合振興計画の第二年度を踏み出すに当たりましては回避できない障壁はいくつもあります。

高齢化社会への急激な進行、農業、商工業の体質の改善など消費者の立場に立ったものでなければ、成り立つていかないということ、言うまでもございません。また、今後ますます地域間の競争は激化してまいれると思われましますので、こ



施政方針を述べる宇都宮町長

れに勝ち抜くための工夫や、やる気、自助努力が欠かせないと思われまします。行政はあくまでも、それに対する支えをしていくべきであると思うのでございます。

また、本町は歴史的に教育と文化の町であり、どうしてもさけて通れない道であり、今後、最大の努力をして参りたいと思っております。今日まで、先人の手によって培われてきました輝かしい「教育的風土、文化的風土」などの良き伝統を継承しつつ、本町の歴史的、経済的、社会的背景をさらに発展させるため、本町を広く内外に開かれた交流拠点と位置づけ、活気に満ちた住みよい町づくりに邁進してまいります。

以上、所信の一端を申し述べましたが、町議会並びに町民の皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

積極的に展開

八つの重点施策

本町の平成四年度における予算は、国、県の施策の動向を見極めながら厳しい財政状況の中、自主的な行財政運営を基本に編成し、重点施策として次の八つの施策を設定いたしました。

第一は、町内道路及び街路網の整備、二つ目が最終処分場等懸案となっている下水道の整備、三つ目は龍門滝を核として宇曾ノ木溪谷並びに高岡公園等広域な環境と平成四年度からの継続事業の温泉保養施設の改築、四つ目に教育と文化の町として教育文化施設の充実、五つ目に農業の振興と商工業の推進、六つ目に高齢化社会に対応する福祉の充実、七つ目が町

営住宅の建替事業と住宅政策の推進、最後の八つ目が住民の声を町政に反映すべく、住民との対話となっております。

これら八つの重点施策をめぐるとし、本町をはじめ地方自治体における財政事情は大変厳しい状況下にありますが、本町がかかえている立場など、いろいろなことを総合的に判断し、積極的な予算を編成いたしました。

本町政の限らない前進のため、所要の施策を積極的に展開し、きたるべき二十一世紀への大きな躍進に向けての街づくりのために精力的に努力を重ね、町民の厳粛な負託にこたえていきます。

それでは、これらの各般にわたる施策の大綱について説明いたします。

〔八つの施策を柱に〕

- 町内道路及び街路網の整備
- 下水道の整備
- 龍門滝を核とした宇曾ノ木溪谷並びに高岡公園等広域な環境と温泉保養施設の改築
- 教育文化施設の整備
- 農業の振興と商工業の推進
- 高齢化社会に対応する福祉の充実
- 町営住宅の建替事業と住宅施策の推進
- 住民との対話



加治木から隼人へ直行

隼人道路が完成

本町における陸、海、空の交通の機能をさらに強化するために、木田振興地区の今後の整備計画と併行して、当地域に新港を整備するよう県に働きかけています。これが実現すると、今までの港湾ではなしえなかった文化生活を楽しむ

① 人、もの、技術の
交流する
まちづくり

加治木独自の湾奥文化を形成

「陸・海・空」の交通の強化を

木田振興地区に新港

大綱の第一点は「人、物、技術の交流するまちづくり」です。

「新しいふるさとを創造するため、交流拠点加治木」を推進するため、交通の要衝地としての機能を強化し、また人の交流を促進することにより、地域に開かれた新しい町づくりをめざします。

めるアミューズメント施設や、スポーツ施設等の充実を図ることに、加治木独自の湾奥文化が形成でき、また地域住民に質の高い住環境を提供し、かつ県内外客の集う交流拠点として、快適な水際の市街地を整備するなどして、新たな形で錦江湾との関わりを持つ人々の集まりであるまちづくりができます。

国際交流の場・京セラ研修所

十号バイパスの早期着工を

隼人、加治木道路の供用開始記念のジョギング大会は大成をおさめましたが、この道路の供用開始に伴い、ますます栗野・加治木線及び国道十号線の交通渋滞が当然予想されるので、国道十号バイパスの建設促進については、今迄も機会あるごとに陳情活動をしていますが、今後もあらゆる機会を通じて早期着工に向けて要請をしていきます。

また、京都市に本社がある京セラ株式会社研修施設として進出することになりますが、京セラとしては初めての研修施設であり、

さらに、鹿児島県総合基本計画第一期実施計画に盛り込まれている戦略プロジェクトの中に、スポーツ中核施設の整備が計画されていますが、本町としては、この施設を是非とも木田振興地区に誘致できるように県に働きかけており、これが成功すると施設としては、多目的球技施設（サッカー、ラグビー等）総合体育館、海洋スポーツ施設等が建設されます。

そのことにより、スポーツ技術の向上と県内外はもちろん、国際人との交流が進められることに期待しています。

国内の工場、事業所、営業所などの従業員研修や新入社員の研修のほか、将来は海外事業所を含めた経営会議の構想をもっており、国際的な交流が促進され、本町の活性化が図られます。



京セラの予定地



整備中の木田振興地区

思いやりのある 青少年の育成

また、次代を担う青少年が規律ある集団活動や体験等異年齢間の相互学習を通じて、豊かな感情と創造性を育むとともに、その他の人々との交流や史跡、産業、文化等を参観することにより、視野を広め、明日の郷土を担う心身ともにたくましく、思いやりの心をもった青少年を育てていきます。

② 豊かな教育と文化あふれるまちづくり

活力ある教育と文化 スポーツの振興を

大綱第二点は、「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」です。

加治木町のもつ輝かしい歴史と伝統に立った教育的風土を活かした豊かな人間形成をめざし、すべての町民が心身ともに健康で人間性豊かな町民の育成を願って、活力ある教育と文化、スポーツの振興を図ります。

一方、教育の三本柱といわれる「学校教育・家庭教育・社会教育」と、これに自分の生まれ育った故郷を愛し、どこにいても自分のふるさとを誇りにできる「ふるさと教育」にも力を入れていきます。第一に学校教育の充実ですが、教育環境の一層の整備充実に努め、



レクリエーションとしてのスポーツ

就園、就学、育英奨学資金など、児童生徒の学力の向上、教職員の資質の向上、生徒指導の充実を図ります。

平成二年度から実施した錦江小学校の大規模改修事業は、最終年度となります。また町内小学校の

生涯の各時期に応じた学習を推進

第二に、社会教育の振興です。

社会教育は、「学びあい、心ふれあう人づくり、まちづくり」を基本目標に、生涯の各時期に応じた学習の場や機会の拡充と条件整備を図り、生涯学習の推進に努めます。また、個性豊かで、心身共にたくましく、思いやりのある青少年を育成するため、青少年の自然体験活動や社会参加活動の促進と家庭教育の充実に努めます。さらに、地域に住む人々の人間的な心のふれあいを基礎に、明るく豊かで潤いと活力のある町づくりを進めます。

文化活動については、物の豊かさから心の豊かさが求められつつある今日、文化活動の発表の場や鑑賞機会の拡充に努め、文化の香り高い地域社会の形成をめざします。

町民の願いである文化活動の拠点としての「文化会館」の建設については、平成三年度で基本設計

体育館の屋根塗装工事を計画的に実施し、本年度は柅城小学校体育館を整備します。

加治木中学校では、視聴覚教室をパソコン教室に改修し、教師用一台、生徒用二十台を設置し、コンピュータの操作などを通して、情報を適切に活用する基礎力を養い、主体的に自ら学ぶ意欲を高めるようにしていきます。

ができましたが、それ相当の財源が必要ですので、引き続き検討をしていきます。

町内の文化財は、郷土理解や郷土愛の精神を育む貴重な史料であり、また、次代に引き継ぐ大切な財産です。その保存と活用を図り、文化財に親しむ機会の拡充や、文化財愛護思想の普及に努めます。

全国から募集

椋鳩十文学記念館賞

椋鳩十文学記念館は、開館以来一年九か月を経過し、一月末日で二万四千有余の入館者を記録しております。

事業としては、平成三年度から実施いたしました「椋鳩十文学記念館賞」の実施、全国読書感想文の募集、結果発表や表彰、町内小中学校生で読書に励む児童・生徒の表彰等、また、長野県喬木村との資料交換、情報交換等も計画しています。

県民体育大会 加治木も会場に

第三に、スポーツ・レクリエーションの振興です。

サンデーファミリースポーツの普及や、自ら進んで参加するスポーツという意識高揚を図り、さらに施設の整備充実、指導体制の充実を図り、スポーツの人口底辺拡大、学校保健体育の充実、並びにスポーツ事故の防止に努めていきます。

また、平成四年度は第四十六回県民体育大会が始良地区で開催されます。本町では、加治木小学校で相撲、加治木工業高校でラグビー、加治木中学校、加治木高校でバスケットボール、加治木クレイ射撃場でクレイ射撃の四つの競技が行われます。

大会の成功に向けて町民あげて取り組んでいきます。



椋鳩十文学記念館



トレーニングセンター



保健センターを活用

③
健康な
まちづくり
安心して住める

在宅介護支援センターを設置

大綱第三点は「安心して住める健康なまちづくり」です。

第一に社会福祉の充実ですが、家庭における生活の安定と子どもの健全育成のため、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、父子世帯児童養育手当を支給し、また、母子家庭等医療費助成事業も実施していきます。

福祉サービスの需要は、質的にも量的にも増加している状況下にあります、特に本町は全国平均より高齢化が進行しており、国が推進し

ている「高齢者保健福祉推進十か年戦略」を基に、デイサービス事業、在宅老人短期保護事業、介護ヘルパー派遣事業、在宅高齢者福祉サービス総合調整事業、家庭奉仕員派遣事業等の事業を主体に、ひとり暮らしの老人や、ねたきり老人、虚弱老人、身体障害者等の在宅福祉のニーズに積極的に対応していきます。

また、重度心身障害者医療費助成金制度、紙おむつ支給事業、緊急通報装置事業、温泉保養券、は

り・きゆう券の発行、敬老金やねたきり老人等の介護報償金の支給等在宅福祉事業を推進していきます。

新しい事業として、「在宅介護支援センター運営事業」を加治木望岳園に委託します。

これは、在宅ねたきり老人等の介護者等が、介護に関するニーズに対応した各種の保健、福祉サービスを総合的に受けられるようにしたものです。

また、介護ヘルパー派遣事業と併用し、巡回入浴車をフルに活用し、在宅福祉入浴サービスができるように努めていきます。

町民の健康づくりを推進

次に保健衛生の充実です。

成人病の予防と早期発見を目的とした壮年期からの健康対策と寝たきり予防対策は、老人保健法に基づいて、昭和五十八年度以降、計画的に推進されており、また、平成二年度から保健福祉の連携の強化、在宅ケア推進等の体制整備が進められてきています。

こうした中で、町民が心身共に健康でいきいきした生活を送れるような環境の整備をすることは重要なことであり、町としても保健事業を充実するため、国の保健事業第三次計画に基づく、壮年期に

おけるガン、脳卒中、心臓病の三大成人病による死亡率の低減、並びに後期高齢者の増加に伴って社会問題化してきている寝たきり老人の減少の目標に従い、次の事項を重点課題として取り組んでいきます。

一つは、健康診査、健康教育、健康相談の内容を充実して一次予防の充実です。次に、ガン対策の推進ですが、受診率の向上を図り新たに大腸ガン検診に取り組んでいきます。三つには、機能訓練や訪問指導の充実です。

老人保健事業推進については、

内容の充実はもちろんのことですが、福祉と保健の連携を密接にしながら量より質の向上を図っていきます。

母子保健については、基本的な事業として、妊産婦、乳幼児の健康診査、及び保健相談事業等に取り組む、また、メニュー事業として、母子保健地域活動事業、母子栄養健康事業を進めていきます。

また、健康づくりですが、保健センターを拠点に、さらにはトレーニングセンターを活用し、運動普及推進員はもちろん、諸団体、健康づくり審議会、医師会、関係行政機関の御協力を得ながら、町民の健康づくりに努力していきます。

蒲生田通りに歩道を

次に交通安全対策の問題です。

平成四年度に新規事業として、蒲生田通線の歩道の設置をはじめ、ガードレール、カーブミラー等の安全施設を整備し、交通安全教室の開催等に取り組んでいきます。

おいしい水を

次に水道事業ですが、上水道をはじめ上場地区における簡易水道の普及により、本町の飲料水供給率も九十四割を上まわり、全国平均九十四割強に達してきました。

これは、町民の生活が水道に依存する度合いが増えてきていることを示しています。

また、「清浄にしておいしい水」の安定供給のため、漏水対策及び水質管理を益々強化し、老朽管施設の改善と未給水地域の解消を図りながら、あわせて水道管敷設の管理及び業務サービスのための給水戸番図の作成に努めます。



水道課の庁舎

自然と調和する 快適な ④ まちづくり

川原住宅を建設

木田本通線が国道と連結

大綱第四点は「自然と調和する快適なまちづくり」です。

豊かな自然と快適な住環境が調和した町づくりのため、主要幹線道と調和のとれた町内幹線道路網の整備及び生活道路等の新設、改良補修や潤いに満ちた公園の整備、維持補修、また海岸保全、河川改修等により災害に強いまちづくりを進めていきます。

まず、道路整備ですが、幹線道路については、補助事業の活用を図り、平成三年度に引き続き小田線・中野線・須崎中福良線の改良及び塩入川の改修を、また、新規事業としては、蒲生田通線の歩道設置、吉原橋の改築を進めてい

きます。

この他、町内一円にわたる道路の局部改良、舗装及び側溝の整備等を実施し、また、道路の的確な維持管理に努めます。

次に街路事業ですが、継続して海浜通線、岩原西通線を施行していきます。

また新規事業として、諏訪後通線を施行します。加治木駅周辺地域の将来交通の円滑化及び近隣地域の環境整備を含め、幹線道路として整備を進めます。

昭和五十七年度から事業を進めていた木田本通線（事業費十一億二千万円）は、十か年の年月をかけ、平成三年度に完成。この線橋の

名称は、町民から募集して「新生こ線橋」と決定しました。

また、錦江駅前通線も駅前広場の整備と、町道新生町南線の環境整備を昭和六十三年度から進めていましたが、事業費二億一千万円をかけ、平成三年度で立派に完成しました。

次に「住環境」の整備促進についてですが、文化的な居住都市づくりのため、公営住宅等の建替事業と、地域特別賃貸住宅の促進を図り、平成四年度から二か年にかけて川原住宅の建設工事を進めていきます。

まず本年度は、木造十四戸とブロック造十四戸の計十八を解体。鉄筋コンクリート造四階建て一種十二戸、二種十六戸の計二十八戸と、それに伴う附帯施設を整備します。

次に海岸保全施設整備事業により、木田振興地区の内堤護岸の改修をして、潮遊地の機能回復を図り背後地の災害防止に努めます。

リサイクルを推進

環境衛生は、生活雑排水対策として、し尿処理を含め、始良町と公共下水道の推進に取り組んでいますが、今後、終末処理場の位置決定や管渠建設等、供用開始までは、かなりの年月を要しますので、下水道事業と相互調整を図りなが

ら、合併処理浄化槽設置整備事業の研究に取り組んでいきます。

廃棄物処理事業は、今日、社会活動の発展に伴い、ごみは量的に増加、質的に多様化し、その処理が大きな課題となっています。

ごみの再利用、再資源化につきましては、現在まで、町リサイクル連絡会と一体となって取り組んでいますが、本年度はチラシ、広報等による「ごみ減量化等意識の啓発普及活動」や自治会、衛生協会等、各種団体と連携した「ごみ減量実践活動」、また、びん、古紙等資源ごみの回収システム化の研究に取り組みます。

環境美化活動については、衛生協会や教育委員会と連携をとりながら、道路や海岸、河川等の空き缶、散乱ごみ等について環境美化意識の高揚や実践活動の推進に努めてまいります。

次に、一般廃棄物最終処分場についてですが、環境保全の工事を行い、安全型処分場として適正な管理をしていきます。



整備中の千鳥公園

千鳥公園を整備

消防防災は、消防機材器具の整備を図り、消防団員の訓練等を配慮するとともに、防災対策については所要の措置を講ずる等、町民の生活の安定、生命、財産の保存に努めます。

都市公園は、現在の都市公園の管理委託のほか、中高齢者と児童・生徒が共に楽しめる憩いの場、交歓の場、レクリエーションの場として千鳥公園の整備を進めます。



リサイクル運動

⑤ 個性あふれる 産業振興の まちづくり

農業振興地域整備計画を策定 基盤整備で水田農業を確立

大綱第五点は「個性あふれる産業振興のまちづくり」です。

緑豊かな住みよい農村地域の環境整備をめざして、加治木町農業振興地域整備計画の策定に精力的に取り組んでいきます。

その方策の方向として、優良農地の確保、基盤整備の促進、営農体系の確立等計画の樹立を図りながら、昭和六十一年度から実施しているほ場整備事業で、西別府・川床地区の約十七ヘクタールの農道、用水路の整備を含め、区画整理を施行します。これにより、計画の約八十九割の区画整理が完了することになります。

また、県単独農業農村整備事業で、かんがい排水事業として、反土本丸地区の約二百ヘクタールの用排水路の整備、さらに農道整備事業として、木田・牟礼前地区の約六百ヘクタール、小山田・新開地区の約六百ヘクタールの農道の一部改良と舗装を実施いたします。

県営畑地帯農道網整備事業により、引き続き小山田西浦地区の約一千二百ヘクタール、日木山楠原地区の約九百ヘクタールの農道舗装を行い、労力の省力化、農産物の荷いたみの解消と農家の生産性の向上を図り、生活安定に努めます。

次に農地保全事業ですが、昨年

度に引き続き県営シラス対策事業を小山田市来原地区と団体営事業で西別府富蒲谷地区の排水路等の整備を行い、農地の保全に努めていきます。

次に水田農業確立対策は本年度百二十八割の配分を受け、農業者と関係機関団体が一体となってこの対策を推進し、目標の達成ができる見込みです。

国は、平成四年度の転作等目標面積を十三万ヘクタール軽減し、本町への配分も二十八割軽減しました。また、あわせて事前売渡し申込限度数量が七十万四千三百七十割となり、本年度数量五十八万七千九百十割からすると、十一万六千四百



楠原台地の畑

六十割の増加です。そのため、転作また保全管理等の水田から目標達成がきわめて困難ではないかと考えられます。

この点からも、基盤の整備を推進して、水田農業の確立を図っていきます。

また、畑作農業ですが、本町では楠原台地で大根の産地化が確立されていますが、十三塚原台地で策定している四品目の産地化に向けて強力に進めていきます。また、畜産の振興を図るため、優良素牛の確保対策、特別導入資金の強化対策等を図ってまいります。

自然を活かした

観光ルートを

林業の振興は健全な森林を育てることが地域の保全環境を守ることであり、基盤の整備、間伐の推進、また、緑の環境を活用した休養の場の整備を進めます。

次に水産業の振興です。

関係機関団体の御協力によりまして、マダイやヒラメ、アラカブ等の放流を実施して魚介類の保護と増殖に努めてきました。また、昨年投入した魚礁の効果をより高めるため、アラカブ等を放流して瀬魚の増殖に努めます。内水面についても、美しい河川環境を整備して、町民が楽しめる漁業の振興を推進していきます。

商工業の振興は、むらおこし事業を核として蒲生田通り会の法人



自然にマッチした観光

化も図られ、街灯整備等活性化への気運が高まってきました。また、昨年オープンした「ふれあい物産館」や「健康トレーニングセンター」への客の定着化も図られつつあり、他市町また県外からの研修者等増加しています。

朝市を中心として農家とのふれあいをさらに充実させるため、規模拡大も進め、各種イベントを開催して町外からの客の増加を図りながら、商店街の活性化に向けて努力していきます。

次に観光事業についてですが、史景、保養、レクリエーション活動を求めて訪れられる住民並びに内外の人々のために、全国滝百選に選ばれた龍門滝、今秋に完成します温泉保養施設、竜門司坂、かじかの橋等を一体的に結び、林間歩道や林間広場、流水プールなどを建設し、自然を活かした観光ルートの開設に努力していきます。

⑥ 行 財 政

明るい町政を目標に

大綱第六点は「行財政」の推進です。

行財政の運営に当たっては、限られた経費の中で最大の行政効果をあげることが、今日行政に求められています。行政改革のいっその推進に努めるとともに、日々変化します社会情勢に的確に対応する柔軟な発想にたつて、諸施策の推進に努めます。

また、平成四年度は町制を施行

しまして八十周年になります。八十周年を記念して、あらゆる伝統行事を八十周年と位置づけ企画していきますが、年の後期には町制施行八十周年記念式典を盛大に挙行します。

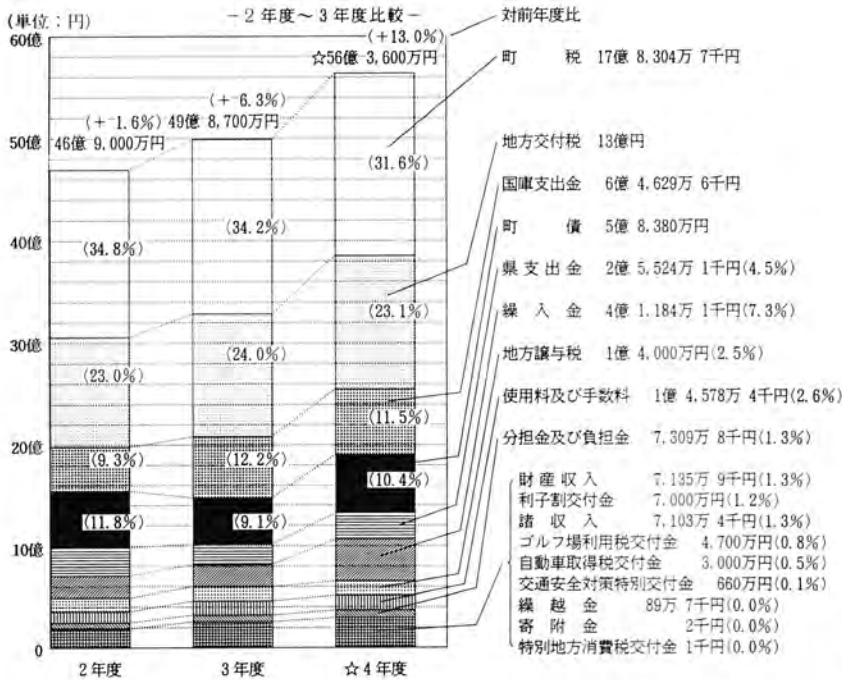
また、職員が多様な能力・知識を修得し、行政に対し、的確に対応するために、各種研修に参加させ、職員の資質の向上を図り、行政の規律を正し、明るい町政を目標に町民の期待に応えるべく、最大限の努力をしていきます。

四年度の一般会計予算は、五十六億三千六百万円で、昨年度当初予算に比較しますと、十三割の伸びとなっています。

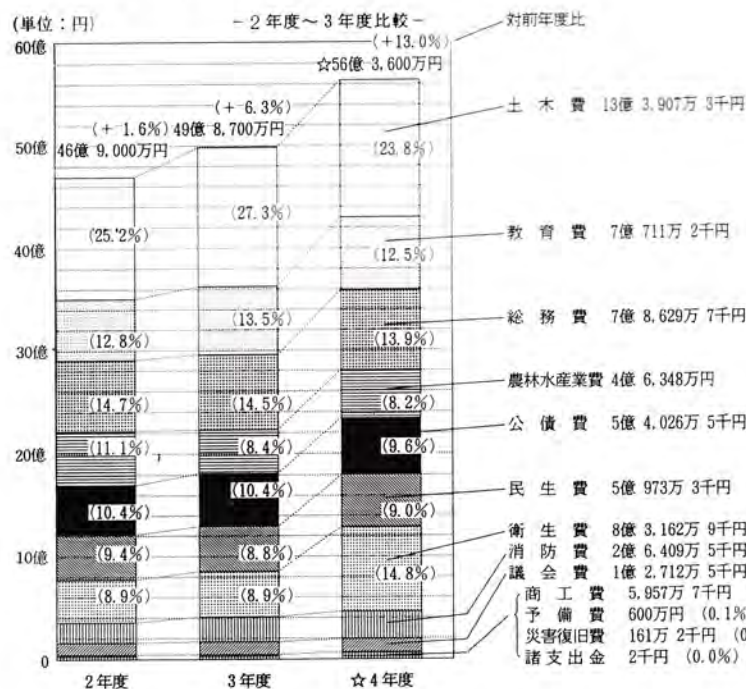
一般会計当初予算

五十六億三千六百万円

平成4年度 一般会計当初予算（歳入）



平成4年度 一般会計当初予算（歳出）



—平成4年度 特別会計予算—

特別会計名	平成4年度	平成3年度	比 較
国民健康保険	12億8,968万7千円	11億9,228万9千円	9,739万8千円(+7.6%)
簡易水道事業	8,638万4千円	2,964万1千円	5,674万3千円(+191.4%)
地域下水処理事業	3,714万5千円	4,163万9千円	△ 449万4千円(-10.8%)
老人保健医療	18億2,580万円	16億9,075万1千円	1億3,504万9千円(+8.0%)
農林業労働者災害共済事業	162万2千円	161万8千円	4千円(+0.2%)
企業用地取得造成事業	7億3,535万6千円	0円	7億3,535万6千円(皆増)

木田振興地区整備の現状について

スポーツ中核施設誘致のため 道路網を整備中

平成三年度に策定された「加治木町新総合振興計画」に打ち出されている木田振興地区の整備の現状を簡単に説明いたします。

県が平成三年二月に発表した総合基本計画（十四戦略プロジェクト）の中で「いきいき健康スポーツプラン」として、県民の健康プラザの整備、スポーツ中核施設の整備、健康づくりスポーツ活動の支援が盛り込まれています。

本町は、この中で「スポーツ中核施設の整備」事業を誘致すべく昭和六十三年度から積極的に、関係者の協力を得ながら県に働きかけているところです。

施設の内容としては、多目的球技施設（サッカー・ラグビー場など）で、発表と同時に十月か平成四年三月末には実施か所の指定がされるものと予測されましたが、県としても慎重に取扱い、現在、基礎調査もほぼまとまりかけている状況ですが、まだ発表されておられません。

しかし、本町としては、平成四年度中には実施か所が決定されると思われるので、引き続き県に対して積極的な誘致を進めていきます。

そのためには、関連道路網の整備が重要となり、現在、平成三年

度から海浜通線、岩原西線の都市計画街路を計画し、整備中です。

海浜通線は、町営運動場南側から町公社有地までの道路で、現在町営運動場南側の部分（約二百五十メートル）と、町公社有地の東側（約二百三十メートル）の区間の工事に着手しているところです。

岩原西線は、旧国道十号線の加治木記念病院（旧加治木保健院）前から海浜通線が交差する区間までの道路で、現在約七十メートルの区間の工事に着手しています。

また、新生こ線橋の完成で、木田本通線が国道十号線と直結しました。さらに、国道十号線を貫通し、町営運動場までの海浜通線の約七百二十メートルについては、平成四年度に地権者や関係各位に説明会を行い、みなさんの御理解と御協力をいただきながら、早期着工をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



整備が進む木田振興地区



電子計算機処理に係る

個人情報 記録項目の公表

町では、平成二年一月から電子計算機を導入、行政事務のスピード化、及び住民サービスの向上を図っており、その処理もスムーズに進んでおります。

この電子計算機の処理に当たっては、住民のプライバシーを侵害しないよう十分配慮しているところです。また、その内容を毎年公表することになっていますので、ここに公表します。

個人情報記録項目

① 住民基本台帳に関するもの

市町コード、個人コード、異動年月日、届出年月日、異動事由、世帯番号住所、方書、小学校区、中

③ 国民年金に関するもの

年金手帳記号番号、年金種別、取得年月日、取得事由、喪失年月日、

② 国民健康保険に関するもの

資格区分、受診記号番号、取得年月日、取得事由、喪失年月日、喪失事由、届出年月日、変更年月日、變更事由、国保世帯番号、異動年

④ 児童手当に関するもの

喪失事由、変更年月日、変更事由、免除区分、免除開始年月、免除廢止年月、前納最終月日、不在区分、3号者手帳記号番号、納付金額、納付年月日、証書記号番号、証書交付年月日、支払郵便局、失権年月日、失権事由、配偶者コード、扶養義務者コード

⑤ 福祉関係に関するもの

等級 障害区分、重度心身医療区分、医療区分、医療証番号、扶助区分、認定番号、扶助開始年月、扶助廃止年月、児童扶養手当区分

⑥ 教育に関するもの

幼稚園コード、園児コード、保護者コード、入園料、幼稚園使用料、階層小学校区、中学校区、保護者氏名

⑦ 選挙に関するもの

投票区、表示区分、登録年月日、抹消年月日

⑧ 町営住宅に関するもの

団地名、種別、料金、料金区分、
住宅番号、入居年月日

⑨ 上水道に関するもの

世帯コード、メーター取付コード、

氏名、検針地区、納付区分、用途、簿冊番号、口径、メーター番号、メーター有効期限、当初検針年月日、当初検針指針、メーター料区分、整理番号、世帯人員、前回検針年月日、前回指針、前回使用水量、今回指針年月日、今回指針、今回使用水量、減免水量、推定ピット、基本水量、基本料金、超過1水量、超過1料金、超過2水量、超過2料金、超過3水量、超過3料金、メーター料、工事費、金融機関名、口座番号、住所、郵便番号、郵送区分

⑩ 下水道に関するもの

団地コード、住宅番号、使用水量、
下水道使用料

⑪ 職員給与に関するもの

所屬コード、職員番号、共済組合コード、氏名、性別、生年月日、採用年月日、学歴コード、卒業年月日、経験年数、職名コード、職種コード、等級、号級、昇給月、現給発令年月日、月額特勤手当コード、管理職手当コード、会計区分、仕訳コード(款・項・目)、住

⑫ 固定資産税に関するもの

(土地)
一筆コード、異動年月日、異動事由、所有者コード、納税義務者コ

ード、取得年月日、取得事由、所在地番、筆外、台帳地目、現況地目、非課税区分、農地区分、台帳地積、現況地積、住宅用地積、評価額、課税標準額、住居数、標準地コード、路線番号、間口、奥行、形状、補正率、その他比率割合、一区画地番、合算区分（家屋）

(家屋)

一棟コード、異動年月日、異動事由、所有者コード、納税義務者コード、取得年月日、取得事由、所在地番、棟数、棟数除外、非課税区分、家屋番号、種類、構造、屋根の種類、階数、登記床面積、軽減区分、併用面積、㎡当り評点数、評価額、建築年次、軽減開始年、軽減床面積、軽減戸数、合算区分、理論価格、前評価額
(償却資産)

(償却資産)

所有者コード、資産の種類、資産コード、資産の名称、数量、取得年月日、取得価格、耐用年数、減価残存率、課税標準の特例、課税標準額、増加事由、減少事由、減少区分

⑬ 軽自動車税に関するもの

輕自動車コード、異動年月日、所有者コード、車種コード、標識番号、課税区分、世帯コード、定置区分、納税管理人代表者コード、車名、形式及び年式、原動機の形式、車体番号、形式認定番号、総排気量

⑭ 町県民税の賦課に関するもの

納税義務者コード、整理番号、申告区分、主所得区分、均等割区分、徴収区分、所得額（営業、農業、そ



スピードアップされた窓口

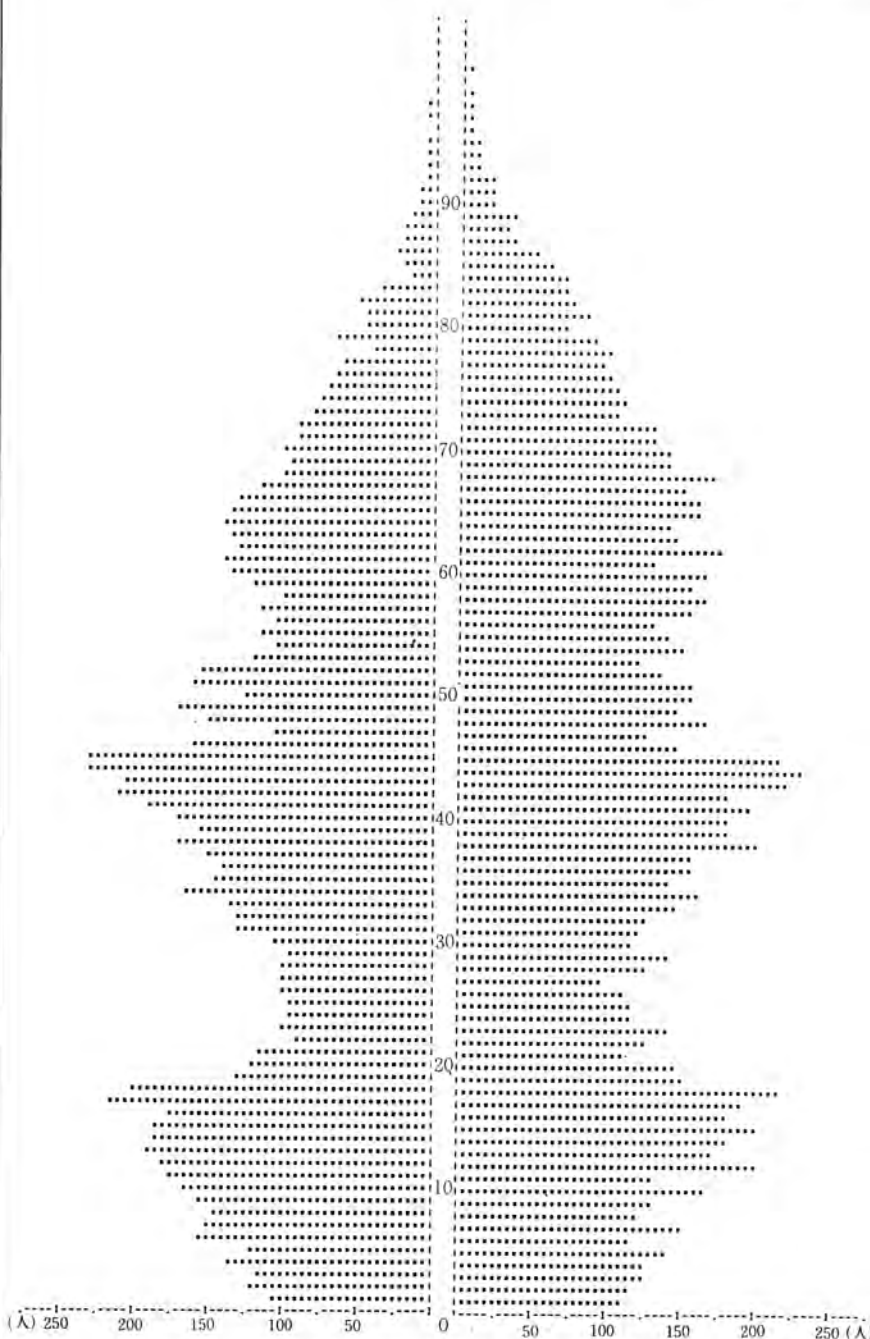
の他事業、不動産、利子、配当、給与、総合譲渡、一時、土地等事業、短期、分離短期譲渡、分離長期譲渡、山林、変動、臨時）、特別控除額（総合譲渡、一時、分離短期譲渡、分離長期譲渡、山林）、繰越控除、特例適用免税所得、みなし法人（事業区分、所得額、事業主報酬、過大報酬）、資産合算（区分、主所得者コード）非課税所得、専従者控除（事業区分、青白区分、人数、金額）、雑損控除、医療費控除、社会保険料、小規模業共済掛金、生命保険料、個人年金保険料、配偶者特別控除、本人控除（特障、普障、老年者、寡婦、勤労学生、未成年）、控対配有無、扶養（老人数、同居老人数、其の他、特障数、同居特障、普障数）夫有、所得税額、事業所番号、一連番号、損害保険料、住宅取得控除、甲乙欄、中途就退年月日、性別、生年月日、氏名、住所、方書、年金区分、課税区分、非課税区分、損益通算ビット、調整税額判定所得、控除額（本人、扶養、基礎、配偶者）課税標準額、税額控除額、年税額、市町民税額（均等割、所得割）、調整額、（町・県）

⑮ 国民健康保険税の賦課に関するもの
国保世帯コード、前国保世帯コード、国保主コード、主区分、賦課発生年月日、賦課消滅年月日、賦課年度、処理年月日、賦課標準額（資産割、所得割）、税額（資産割額、所得割額、均等割額、平等割額）、軽減（区分、判定数、判

〈参考資料〉

加治木町人口ピラミッド

平成4年3月31日現在
平成4年3月31日作成
（■→5人）



総人口 22,999人 男性人口 10,806人 女性人口 12,193人
平均年令 39.32歳 男 性 37.54歳 女 性 40.90歳

定所得、均等割額、合計額）、限度超過額、減額、年税額、月割後年税額

⑯ 自動振替口座に関するもの
個人コード、異動年月日、金融機関コード、口座種別、口座番号、口座名義人、自動振替科目、全期前納区分

⑰ 農家（耕作）台帳に関するもの
一筆コード、異動年月日、異動事由、耕作者コード、許可年月日、取得事由、所在地番、筆外、台帳

地目、現況地目、非課税区分、農地区分、台帳地積、現況地積、経営委譲区分、四五年以前管理、斡旋取得、台帳所有者、貸付人コード、減免率、転用用途、取得年月日、取得事由、地帯区分、水系区分、自小作区分、小作始期、小作終期

⑱ 住登外者（町内に居住しない）に関するもの
住登外者コード、異動年月日、住登外区分、対象科目、法人コード、

氏名又は事業所名、住所、方書、郵便番号、世帯コード、納税組合、納税管理人、代表者氏名、都道府県コード

⑲ 特別徴収義務者に関するもの
特徴番号、郵便番号、法人コード、事業所名、所在地、業種

⑳ 保健衛生に関するもの
塵芥コード、口座振替コード、金融機関コード、自治会コード、階層区分、畜犬所有者名、予防接種、予防検診、乳幼児医療、検診番号、老人医療

⑳ 町行政全般に関するもの
自治会コード、自治会長名、公民館長名

★〔新しく追加されたもの〕

㉑ 道路台帳に関するもの
路線番号、路線名、道路種別、図面番号、橋梁区分、延長、重用区間、累加延長、道路幅員、改良、未改良区分、立体横断施設区分、曲率半径三〇以下の有無、鉄道との交差の有無、勾配八%以上の有無、中央植樹施設の有無

おめでとう！ 原田くん！

椋鳩十文学記念館賞表彰

第一回椋鳩十文学記念館賞の贈呈式が三月二十七日、全国読書感想文コンクールとあわせて福祉センターで開催されました。

椋鳩十文学記念館賞は、椋先生の生誕日の一月二十二日に発表されていましたが、贈呈式は久保田みと子夫人の家族らを招待して行われました。

最優秀賞の山口県萩市の原田耕太郎くんをはじめ、長崎県佐世保市のこまつはるなさんら十二人の受賞者は、宇都宮町長から表彰状と記念のタテを贈られ、さすがに嬉しい様子で、原田くんは「受賞できるとは思っていませんでした。たいへん嬉しいです」と喜びの言葉を語り、受賞作の「よく

やったぞカガミジシ」を朗読。会場は、ふたたび感動のうず巻きに達していました。



宇都宮町長から表彰状が

よくやったぞ わがミジシ



最優秀賞

原田耕太郎くん

やつといとめた、カガミジシの肉を食べずにやいてしまった源助じいさんの気持ち、ぼくの心にじんとひびいた。子どものために、仲間のために、きびしい自然と堂々とたたかってきたカガミジシが今、天

へのぼっていく。

「よくぞ、がんばった」「天でゆつくり休めよ」

ぼくも、源助じいさんといっしょに祈った。

源助じいさんとカガミジシは、ライバルであった。

「これならどうだ」「今度はどうする」

源助じいさんは、強い相手という志を燃やし、りょう（狼）のうでをあげていった。そしてぼくもカガミジシの行動から、いろいろなことを学んだ。

ぼくがイノシシの登場する場面、特にいいなあと思ったところは、イノシシの、野性のたくましさを書き表されている所だ。イノシシにつくダニをおとすために、体を赤土や木にすりつけるという。また、まつやにを体につけて、よろいの代わりをして自分の体を守っているそう。これなら、何でもむやみに殺す、殺虫ざいや武器もない。何のつみもない命や自然をうばい取ってしまう人間のことがぼくの頭にうかんできた。

また、カガミジシはにおいをまどわすために、自分の足あとを、もどって川原のまん中できえたようにもみせかけた。ぼくは、ここを読んだ時、

「かしこいやつだ」「かしこいやつだ」

と何度もつぶやいてしまった。

カガミジシの行動は、一寸した油断で命をおとす野性の動物にそなわっている習性かもしれない。しかし、ぼくたちは、そんなに、真けんにくらしているだろうか。勉強でも、スポーツでも、ただ人に言われるから仕方なしに、だらだらとやっている。

源助じいさんが百五十個もかけたワナにイノシシは、一匹もかからなかった。しかし、便利で豊かな生活になれている人間ならすぐにかかってしまいそう

である。

「人間が、いちばんかしこいと思っていたが、イノシシの方が頭がいいのか。鼻がいいのか」

ぼくは、いろいろ考えながら読んだ。野性のことは、野性で生きている、動物が一番くわしいのだ。カガミジシが子どものイノシシをワナからすくうために、足をかじりとつた所、最後の場面、わがままなイノシシの子どもをすくうために源助じいさんのじゅう（銃）でうたれた所に、動物の情を感じた。イノシシの頭領として、子や仲間のために自分にできるギリギリのことをしている。自分のつこうで子どもをすてる親や、親を殺す子がいる人間の世界がはるかしくなってくる。

ぼくは、はじめに知恵と勇気のあるカガミジシをとらえようとする源助じいさんがあまり好きでなかったが……源助じいさんは、カガミジシのことを「いまましいやつだ」と思いながら、ほんとうは、「すばらしいやつだ」と思っているのだ。カガミジシをとらえたいと思ひながら、心のどこかで上手ににげてほしいと願っている。

長年、りょうにかけてきた源助じいさんだから、カガミジシの偉大さがわかり、尊敬しているのだろう。カガミジシに

「してやられる」たびに「ただものじゃねえ」

とつぶやいては、林のおくを見つめる源助じいさんの心は広く、美しい。自然の中をかけめぐって、りょうに生きてきた源助じいさんもやっぱり、カガミジシにまけないりょう師の頭領なのだ。

ぼくの父も豊職人として、がんばっている。冬はあかぎれの手に、豊糸がくいこんでとても痛いそう。しかし、父は、だれにも負けない丈夫で、美しい豊を期限までに作るために、夜おそくまで針を動かす。ぼくたちが、よびかけても一心に豊にむかう父はやはり名人だ。

源助じいさんも、がんこなまに仕事にかけてきたのだ。

天にけむりがのぼっていく、カガミジシと源助じいさんの戦いは終わった。しかし、自然の中に生きる野性の命のことが、ぼくの心にしっかりと残った。

カガミジシと源助じいさんの戦いは、すばらしい自然から生まれたのだ。林や森、清らかな谷川、これらがなければこの物語の舞台はできないのだ。

「カガミジシよ、君たちの仲間のことを考え、自然を守っていくよ。ぼくに勇気と知恵をあたえてくれてありがとう」

ぼくは深呼吸をして、空をあいだ。

ふれあい



物産館



ふれあい物産館から

オープン以来10か月が経過し、皆様から愛される物産館を目指して運営中ですが、改めて館内展示販売品を紹介いたしますので、御贈答、各種賞品等に御利用ください。

龍門司焼……………夫婦湯呑、コーヒーセット、番茶セット、花びん、マグカップ、黒じょかセット等

スッポン製品……………スッポンカプセル、スッポンの素

農産物加工製品……………ドレッシング、焼肉のタレ、ゼリー、ジャム、ピクルス、椎茸、みそ、めんつゆ、
各種つけもの類、タケノコ、酢類他

海産物加工製品……………モーニングサラダ、のり、ひじき、ワカメ類、カツオ節、味付腹身他

※ 海や川を守ろう洗剤類

ジュース・菓子類……………オレンジ100%のジュース、ほうれん草・甘夏等のジュース、ボンタンアメ、
げたんは他

お茶……………100g を中心に各種販売

水……………高千穂温泉銘水

衣料品……………ワイシャツ、ポロシャツ、アンダーウェア、トランクス、ショーツ、パンスト、
トレーニングパンツ、ジャージ他

手芸品……………竹かご類、手まり、タカンバッチョ、くも合戦・龍門滝キーホルダー他

薬草……………百年茶、どくだみ、よもぎ、スギナ、クマザサ、ソンバユ、アロエ、柿の葉、
クコの葉他

不用品販売コーナー

御家庭の不用品を物産館で販売いたします。たくさん御持参いただきますが、全部売れています。あなたの御家庭で不用でも、必要な人がいます。いつでもいいです。不用品がありましたら御持参ください。

喫茶ふれあい

待ち合わせ、ミニ打ち合わせ、食事等に……

コーヒー、かき氷、ぜんざい、ピザ他

館内の品物は、どこへでも宅配いたします。ぜひ、郷土の製品を親戚、知人、友人、お世話になった方等への贈り物に御利用ください。

近くにお越しの際は、休憩所としても御利用ください。



隼人道路
開通記念イベント

加治木 ← ハイウェイ → 隼人

ジョギング大会



一斉にスタート！

大成功！

「うわー、最高だわ！」
錦江湾をまたいで快走

いろいろな催し物が行われ、本番にむけ大いに氣勢を上げました。大会は、最初で最後の一回だけのジョギング大会とあって、会場の加治木工業高校グラウンドには

大会前日には、前夜祭が隼人町営運動場で開催され、馬おどりの太鼓踊りなど、

いろいろな催し物が行われ、本番にむけ大いに氣勢を上げました。大会は、最初で最後の一回だけのジョギング大会とあって、会場の加治木工業高校グラウンドには

早朝から参加者が続々と集合し、四千五百五十人が受付を完了。県内で行われるジョギング大会でも最高を数える参加者に、大会事務局はうれしい悲鳴を上げ、また遠くは東京、大阪から駆けつけた人もあり、大会のボルテージはいやが上にも最高潮に達しました。開会式では、大会会長の宮田隼人町長が、「みなさん、一度しか走れないジョギング大会です。すばらしい景色をゆっくりと眺めながら走ってください」などとあいさつしました。

隼人道路の開通式は三月二十五日、三百人余りの人が出席して開催され、二月の初午祭で鹿児島神社宮に一番奉納した加治木町木田の御神馬（沢崎菊男さん所有「きくふみ号」）が、踊り子三十人余りを引き連れ、交通安全を願って馬躍りを披露しました。

馬おどりで交通祈願を
隼人道路開通式



めずらしい馬躍りにたくさんの人が

ンジの間からスタートした三キロコースからは、千七百八人余りが一斉にスタート。自動車道は人であふれ、正に「芋の子を洗う」ようにひしめき、壮観な光景でした。また、このコースはのんびりコースで、写真を片手にパチリと写したリ、錦江湾の涼風を受け「うわー、最高だわ！」と会話も楽しくジョギングしていました。さらに五キロ、十五キロと次々にスタート。ジョギング愛好家らは十五キロの長丁場に出場し、それぞれ自慢の健脚を競いました。



がんばりました

円をかけた立派な高速道路で、将来は東九州自動車道に組み込まれる予定です。



のぼりを立てて力走



さあー、トップはだれ？



スナック

あれ

(これ

加治木・隼人ハイウェイジョギング大会成績

男子の部				女子の部			
	順	ゼッケン	氏 名	順	ゼッケン	氏 名	
3 キロ 小 学 校	1	392	井之上将志	1	001	安 永 加 奈	
	2	628	上 茂 俊 隆	2	655	田原ちひろ	
	3	137	安島慎一郎	3	072	永野美由紀	
3 キロ 中 学 校	1	331	永 谷 拓 也	1	653	中 園 佳 代	
	2	064	山 内 豊 治	2	031	竹内なおみ	
	3	454	水 野 哲 也	3	654	窪 樹 里	
5 キロ 一 般	1	721	隈 元 修 次	1	050	竹内ひろみ	
	2	079	平八重幸志	2	810	加 藤 綾 乃	
	3	1068	加世田 定	3	809	宮脇真由美	
15 キロ 一 般	1	842	小 倉 千 春	1	057	山 中 成 子	
	2	801	田 上 一 精	2	897	梶 留美子	
	3	1081	和 田 哲 志	3	982	鈴 木 綾 子	



役場職員の異動

四月一日付（ ）内は旧課

▽工事監査課長・荒川学（都市計画課長）▽都市計画課長・遠矢義美（土木課長）▽土木課長・飯屋蘭昭（耕地課長）▽福祉課長・永山里志（住民課長）▽住民課長・長井利弘（福祉課長）▽耕地課長・宮原藤朗（経済課長補佐）▽始良地区滞納整理組合事務局長・重昭実（選挙管理委員会事務局長）▽選挙管理委員会事務局長・若松敏

弘（住民課長補佐）▽住民課長補佐兼任民相談係長・畠中幸子（同窓口係長）▽議會事務局庶務兼議事係長・蘭田英美（都市計畫課住宅係長）▽都市計畫課住宅係長・木場正夫（議會事務局庶務兼議事係長）▽福祉課兒童係長・東兼秀（經濟課商工水產係長）▽土木課管理係長・原口隆嗣（學校給食共同調理場事務係長）▽學校給食共同調理場事務係長）▽學校給食共

▽稅務課課稅第二係、向江哲郎（經濟課商工水產係）▽都市計畫課街路係、徳部健一（土木課土木係）▽土木課土木係、松下友多（都市計畫課都市計畫係）▽福祉課老人障害係、郡山秀樹（經濟課農構係）▽保健衛生課環境衛生係、高橋昭弘（福祉課福祉係）▽社会教育課、濱田耕一（耕地課工事係）▽企画課電算係、猪俣志郎（總務課財政係）▽福祉課児童係、下小牧芳文（社会教育課）▽都市計畫課街路係長、外園三郎（同都市計畫係長）▽總務課庶務係長、岩澤

健一（同庶務係長兼管財係長）▽
土木課長補佐兼土木係長・神村次
郎（同課長補佐兼土木係長兼管理
係長）▽經濟課農業振興係長・久
木元勉（農業委員會農地係長）▽
農業委員會農地係長・川田伸幸
（經濟課農業振興係長）▽福祉課
長補佐兼福祉係長・福森徳昭（同
課長補佐兼兒童係長兼福祉係長）
▽退職者（三月三十一日付）

森木幸雄（工事監査課長）
福森茂（永原小学校）

竹下スミ子(学校給食共同調理場)

▽学校教育課長異動

江原正倫（県教育庁へ）

和田幸一郎（枕崎市金山小から）

▽新規採用者(七人・四月一日付)

内村美智浩（総務課財政係）

米山恵美
(総務課庶務係)

池江睦美（耕地課工事係）

上水流良春（都市計画課街路係）

岩下智江美（保健衛生課保健係）

三反和美
(学校給食共同調理場)

長濱みどり（学校給食共同調理場）

身近な話題やニュースは文書係まで (☎62-2111)

Town news

●まちな話



メダルの重みを励みに...

全国高校選抜団体で初優勝

第十回全国高校弓道選抜大会は三月二十二日明治神宮武道館で開催され、初出場の加治木高校がみごと優勝の栄冠を獲得し、優勝報告のため三月二十四日宇都宮町長を訪ねました。

この大会のメンバーは、上村尚史君(主将)、小松賢二君、金氣大輔君の三人。川畑校長は「彼らのハカマ姿が凛々しく感じられ、逆に私が緊張しました。それにしても、文武両道に秀でた末頼もしい若者たちです」と目を細め、教え子の堂々とした活躍に満足気でした。また、今回特に、心技体を

兼ね備えた者に贈られる技能最優秀賞も受賞。今や、加治木の弓道は、加治木工業高校の活躍も目を引き、「九州に加治木あり」と全国的に恐れられる存在です。中でも、本町の上村主将は大会を通じて全部命中させた達人(?)で、「大会のピーンと張りつめた緊張感が好きです。将来は先生になり弓道を続けていきたい」と抱負を語ってくれました。

また、上村くんは三月十五日開催された加治木町弓道大会の高校生の部でも堂々と優勝し、実力の違いを見せていました。



優勝トロフィーを前に

加治木高校弓道部

雲仙普賢岳に見舞金を

町文化協会(松田繁美会長)の日本舞踊部では二月十六日、十三人の師匠らによる「雲仙普賢岳及

び加治木町福祉義援金チャリティショー」が開催され、その益金が雲仙普賢岳と町福祉課にそれぞれ



福祉に役立てて

ご寄付されました。

町福祉にも寄付 町文化協会日本舞踊部

チャリティショーの後、篠原町社会教育指導員ほか六人が島原市の鐘ヶ江市長を訪れ、五十万円を見舞金として手渡しました。鐘ヶ江市長は「桜島も爆発するので大変でしょう。見舞金ありがとうございます」と感謝のこたえを述べられました。

また、松田文化協会々長らは三月十九日宇都宮町長を訪れ、始終ご縁(四十五円...)があるように、四十五万円を「老人福祉にお使いください」と町にもご寄付くださいました。



鐘ヶ江市長を激励



かわいい園児たちが…

恵まれない子どものために

かずみ保育園の池田園長と卒園組の園児十四人が三月二十五日町社会福祉協議会を訪れ、「恵まれない子どものために」と一万一千九百二十七円を寄付しました。これは、園児らが毎月一日を「一円募金の日」ときめ、きれいな心で貯めた一年分の貴重なお金。池田園長から世界の恵まれない子どもたちの悲惨な映画を見せられ、「ボクたちはこんなに幸せなんだね。だから、少しでも世界の仲間を助けよう」と園児らが自分たちできめて貯めた、心のこもった温かいお金です。

募金

かずみ保育園児が



からいも交流のメンバー

丸岡の堂森忠夫さん（鉄工所経営）宅に三月十一日から二十四日まで、韓国のハー・ヨンハンさんがホームステイし、日本の生活、文化にふれました。ハーさんは、「からいも交流」の留学生で、心よく引き受けられた堂森さん宅にホームステイ。二週間を堂森さん家族と一緒に、楽しく過ごしました。ハーさんは、感心するほどの流暢な日本語で「たいへんお世話になり、ありがとうございます」と喜んでいました。

堂森忠夫さん宅にホームステイ

韓国の

ハー・ヨンハンさん



楽しいでしたか？

町青年団がバンド出演

始良伊佐地区青年祭

青年団の存在を地域に、より広くより深く知ってもらおうと第十三回始良伊佐地区青年祭が三月十五日隼人町で開催され、各町の青年団員が繰り広げる演劇や、ダンスなどの後、加治木町青年団がバンド演奏を披露しました。

このバンドのメンバーは、団員の北野靖往さん、猪俣志郎さんを中心に増田明さん、徳部健一さん、増崎梨花さん、北野祐見子さんの六人。会場は激しいビートの旋律にのって、華やいだ歓声の渦に包まれていました。

——青年団に入りませんか？——



青年祭にて

加治木
トピックス

カメラ
・ルポ

花でつなぐ地域の輪

新生町寿会が花だんを

新生町の寿会(中江有一会長・会員四十五人)では、地域の商店街であるタイヨー店前の広場に、きれいな花だんを作りました。

真っ赤に咲いた花がせわしい買い物客の目を、ふっと和やかにしてくれます。

中江会長は「花でつなぐ地域の輪をつくるため、また地域の活性化のため、来年度は老人と子どもふれあい事業として、菊づくりをしてみたい。親子で参加させ、花を愛でる美しい、きれいな心を持たせたい」と、こやかに語っていました。



あざやかな花をつけて



おねがいします



精神統一が上達のもと

中学生男子優勝は有馬了治くん

町内弓道大会

恒例の町内弓道大会は三月十五日、青少年の健全育成の場でもある求道館で行われ、悪天候のなか中学、高校、一般の部と分かれ、かねて鍛えた技を競いました。また、この日は激励祝賀会も合わせて行われました。成績は、次のとおりです。

(敬称略)

〔中学生男子〕

優勝：有馬了治▽二位：永原和政▽三位：野間隆之

〔中学生女子〕

優勝：杉山路子▽二位：外村あやみ▽三位：上園多喜子

〔高校生男子〕

優勝：上村尚史▽二位：山口輝▽三位：上村剛

〔高校生女子〕

優勝：松山佳世▽二位：広田みき▽三位：原口敏子
〔一般男子〕
優勝：老岐智香則▽二位：出水光流▽三位：猪目明
〔一般女子〕
優勝：南登美子▽二位：池袋ゆみ子▽三位：田原千美子
〔激励会〕
□「全国高校弓道選手権大会」出場激励 加治木高校
□「第三十六回南日本スポーツ賞」▽受賞 加治木工業高校
▽上村尚史(加高二年)▽野村一人(加工三年)
□「平成三年度県下最優秀選手 県弓連会長賞」受賞 上村尚史(加高二年)▽野村一人(加工三年)

街頭で明るい選挙を啓発

「清く正しく」を

町明るい選挙推進協議会では三月二十七日、有権者に明るく正しい選挙を訴えるため、蒲生田通りの街頭でチラシの配布を行いました。

嶺元政範選挙管理委員長をはじめ各推進委員は、夕方の買い物にきた主婦らに

「若年層の棄権防止を!」「候補者や運動員の選挙違反を防止しましょう!」などと呼びかけていました。

みなさん、七月には参議院議員の選挙が行われます。公正な選挙で国民の代表を選びましょう。

「明治青年」五段に挑戦!

岩元徳志さん見事合格

弓道の南部連合審査は三月八日
都城市で行われ、加治木町の長老
・岩元徳志さん(八十三歳・明治
四十二年九月二十四日生)が、見
事五段位に合格されました。

平常、岩元さんのけいこに取り
組む態度はきびしいものがあり、
固癖の矯正などに研究熱心で、年
齢を感じさせない若々しさに、今
回の昇段に、町体協弓道部(部當
光夫部長)の部員こそって拍手を
送っています。

岩元さんは「私が元氣なのは、

弓道のおかげと感謝しています」
と話され、部員の指標になり、ま
た励みにもなっています。

ちなみに、もう一人、壱岐智香
則さん(七十二歳)も昇段されま
した。おめでとうございました。

(弓歴・岩元徳志さん)

弓道教室	昭和62年5月
初段認許	62年11月
二段	63年4月
三段	平成元年4月
四段	2年4月
五段	4年3月



威風堂々としたかまえ

資源ゴミは、家にためないで

役場保健衛生課まで

持ってきてください。(新聞・ビン等)

随筆



高齢化社会の真っ直中に突入
した昨今、高齢者の方々の生活
の日々は孤独感の解消と、生活
の安定にあります。

そうした中、高齢者自身が地
域社会の諸行事や、また町が行
う老人福祉の事業に積極的に参
加することは有意義なことであ
ります。

ここに、加治木町が実施する
デイサービスセンターに通って
おられる方から、あたたかいお
便りがありましたので掲載いた
します。

たのしい一日

松元久子さん

デイサービスセンターに入所
させて頂いてから、はや一年た
ちました。

初めのうちは、どんなにして
よいか分からず、先に入った方
の見よう見まねで、ついて行き
かたでした。今でもそうですけ
ど、皆さん親切にしてください
ますので、何不自由なく過ごし
ていくことが出来ました。

こんなに年取ってからよくも
欠席せずに続いたものと自分な
がら感心しています。おかげさ
まで、皆勤賞というものを頂い
て夢のようです。もともと、週
一回送り迎えしてくださるから
とも思い、また自分としては、

まあ、体の方も年のわりには元
氣のつもりでおりますが、血圧
を測ってもらえば、そう良い方
ではありませんから少し気には
しています。でも、井上先生のお
話を聞いたりして、似たよう
な運動をして体を鍛えること
に専念しております。

センターの中の様子は、私が
説明するまでもなく大抵の方は
ご存知の事と思います。とても
おもしろく、一日のたつのが早
いこと、一週間に一度が待ち長
いこと、職員のお姉様たちはや
さしくて親切で、ていねいなこ
とが涙が出るほど嬉しいです。

玄関に着けば、さっそく出迎え
て「お早うございます」と言っ
てくださるし、こんなことまで
なさるのかと、びっくりいたし
ました。恥ずかしくて、どこか
穴があれば入って行つてくれ
たい気持ちでいっぱいでした。

話は後先になつてしまいまし
たが、私のような年寄りのよい
慰安所となつて、週に一回がど
んなにか楽しい一日です。ちな
みに、私の年は、明治四十五年
四月七日生まれです。(八十七
歳)近いうちに二回目の誕生会
を祝ってもらえます。うれしい
です。



愛鳥週間

5月10～16日

あなたにも鳥の声きこえますか





特別賞

山下博文
竜門小 六年〈シリーズ〉
作文

ゴミ問題について考える

「東京ゆめの島、あと二年が限度」「ゴミにだされた串にさされケガ」

最近こんなニュースをよく耳にする。今や、ゴミ問題は大きな社会問題につながっている。

テレビや新聞では、毎年増え続けるゴミに対して追いつかない処理施設のことや、ゴミによる環境汚染のこと、さらには、どうしたらゴミの量が少なくなるかなど、ゴミに関する話題を多く取りあげている。

それで、私は自分たちの出す



3月15日に行われた
資源ゴミの回収

ゴミがいったいどこで、どのように燃やされているのか、またどんな問題があるのか調べたくなった。

役場に電話をして尋ねてみると、燃えるゴミは加治木町ではなくて、となりの吉田町まで運ばれて燃やされていることが分かり、びっくりした。新聞で東京のゴミを東北まで持っていくて捨てているというのが問題になったが、加治木町でも同じことをしているのかな、と不安になった。また、燃えないゴミは加治木町の本道原という山おくの深い谷に捨てていることも分かった。

次は、友だちといっしょに吉田町のゴミ処理場に行ってみよう。

まず驚いたことは、ものすごいにおいだった。夏の暑さも加わりハンカチで鼻をおおわない

といけないくらいだった。これは、私の住む加治木町や周りの四町から一日五十トンもの大量のゴミが集まるためだった。朝九時から夜の九時まで十二時間焼き続けてもまだ処理しきれないこともあるそうである。毎年増え続けるゴミに、ここでも処理が追いつけなくなっていることが分かった。

また、最近ビニール製品が多くなったために燃やす時に出る有毒ガスが多量になり、処理しきれないで国の基準量よりも多く有毒ガスを放出していることも分かった。さらに、ゴミの中にミニボンベのような危険物が入っていて、それが炉の中でばく発して作業員がやけどをしてしまったこともあるそうだ。

私は見学しながら、今まで新聞やテレビで読んだり見たりしていたことが、実際私たちの周りでもこんな大きな問題になっていることが分かりびっくりした。ただゴミを出せばいいという考えでなく、ゴミの量を減らしたり、スプレーなど危険物は一か所穴をあけてから燃えないゴミに出したり、サランラップの箱は、ラップ切りの金具の部分をはずしたりして、働く人のことを考えて出さないといけないことも教わった。また、ビニールから出る有毒ガスによって私たちの空気も少しずつ汚されている

ことも知りショックだった。早速家に帰って父や母に報告し、わが家のゴミ処理の仕方を点検し、今後も努力していくことにした。

燃えるゴミは、家の庭で燃やす。燃えないゴミは、許可されたゴミ捨て場に捨てに行く。生ゴミは捨てないで、庭のすみに穴をほって集めておき、くさってから畑の肥料として使う。これはもう七年ぐらい続けている。最近ではトレーや牛乳パックはリサイクルできるので集めておき、店に出すようにしている。

私の仕事は、庭でのゴミ燃やしと、牛乳パックをハサミで切り開くことだ。今や父に加勢をもらって一年続けてきた。

遊びたくてゴミに出せばいいのとごみをこぼしたことが何回もあった。しかし、こんな仕事でゴミの量を減らしたり、限られた資源を有効に使ったりするために必要であることが、見学して分かった。

現在、加治木町のある地域では「一日一〇グラムのダイエツト運動」をしているそうだ。毎日、コップ一杯の水の量と同じぐらいのゴミを私たちが真剣に減らす努力をしたら、あのゴミ処理場の方がどんなに助かることか。そんなことを考えると、これからもゴミ焼きを頑張ろうと思った。

鹿児島県

技能開発センターから

鹿児島県技能開発センターでは技能・技術を習得したい方のために、いろいろな講座を開催しています。受講希望者はセンターまでご連絡ください。

場所 鹿児島市東郡元町14番3号
(☎0992-5413783)

□講座別

無接点シーケンス制御(1)

木材加工Ⅰ

ワープロ講座・1太郎編

デジタルIC(初級)

ルームエアコンの実務

玉掛け技能訓練講習

研削といし取替等特別教育

油圧技術入門講座

レタリング基礎講座

※早い講座は、5月16日から始まります。詳しくは、センターまでお問い合わせください。

無料 人権法律相談

鹿児島県地方務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六三一一

(☎63-3585)

中摩多美子 反土二七五六

(☎62-2768)

竹下利行 木田一四九

(☎63-11818)



400周年記念くも合戦大会にちなんで

標語・写真コンクールに応募してみませんか

全国唯一の歴史と伝統を保つくも合戦は、本年で400年を迎え、来る6月21日に、記念大会の開催をいたします。保存会では、記念大会を契機に、町民に親しまれるくも合戦を目指し、後世への伝承普及を図るとともに、飛躍発展させることを目的とし、くも合戦にちなんだ標語と写真のコンクールも行います。町民の皆さん、ふるって御応募ください。

— 応募にあたって —

1. 応募作品

- (1) 応募者の自作創作・撮影したもので、くも合戦にちなんだ作品であること。
- (2) 写真については、6月21日の記念大会時に撮影したものに限定。
- (3) 受賞作品の著作権は、主催者に帰属するものとする。

2. 応募資格

- (1) 年齢・性別は問いません。(2) 町内外を問いません。

3. 規格等

- (2) 写真は、2 Lサイズ以上で入賞のみネガ提出、ただし、未発表に限る。

4. 応募点数

- (1) 応募者1名につき、標語は1人3点以内、写真は限定しない。

5. 応募締切（当日消印有効）

標語 平成4年5月30日(土) 写真 平成4年7月3日(金)

6. 作品の送付・提出方法

- (1) 記載事項 住所・氏名・職業・電話番号を明記する。(標語は官製ハガキで)
(2) 送付・提出先 〒899-52 始良郡加治木町本町253
加治木町役場経済課商工生産係 ☎0995-62-2111 内線164)

7. 入選受賞等

- | | | | | | |
|-----|----|------|----|-----|------|
| (1) | 標語 | 最優秀賞 | 1名 | 1万円 | と記念品 |
| | | 優秀賞 | 2名 | 5千円 | と記念品 |
| | | 佳作 | 3名 | 3千円 | と記念品 |
| (2) | 写真 | 金賞 | 1名 | 1万円 | と記念品 |
| | | 銀賞 | 2名 | 5千円 | と記念品 |
| | | 銅賞 | 3名 | 3千円 | と記念品 |



8. 審査及び発表

- (1) 審査については、くも合戦大会実行委員会において選考委員会を設け、審査します。
- (2) 本人に直接、文書で通知。標語の表彰は6月21日の記念大会会場で、写真の表彰は大会終了後7月中に行います。

主 催 加 治 木 町 く も 合 戦 保 存 会
協 賛 加 治 木 町
加 治 木 町 観 光 協 会

出生児	保護者	自治会
岩見 政行	文行	豊 町
江口 憂紀	政一	蔵王団地
下木屋 誼考	弘太郎	岩原西

うぶ声



1992
4 おしらせ

徳永 彩	光博	西田
黒江なつみ	嘉文	下新道
竹下悠美子	哲哉	新町
宮ノ原友梨	照美	札立
内村 彩乃	一也	原ノ門
田中 美聡	広美	豊田
新山裕里菜	久光	吉原
川畑 佑作	澄博	新中
上村 直人	利久	郁文館住宅
萩原隆太郎	淳一郎	日木山団地
金井麻里奈	稔	赤坂
酒匂 貴弘	正弘	楠園
川村 健吾	健一	天神

又三月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますと、故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人。)

町社会福祉協議会へ

三万円	須崎	宮路俊一(母 キノハセ)
一万円	柳田	岡元良彦(義母 シツエハ)
三万円	反土黒	川上床キク(夫 米吉ハ)
二万円	下浜	松田宗雄(父 宗市七)

平成4年 5月在宅医表

3	大井病院	外科・整形外科 加治木町本町141 ☎63-2291
4	ザ王病院	内科・胃腸科・循環器科・理学療法科 加治木町反土2151-1 ☎62-4611
5	大井病院	外科・整形外科 加治木町本町141 ☎63-2291
10	池田医院	内科・小児科 加治木町本町358 ☎62-2220
17	川畑内科	内科・小児科 加治木町錦江町233 ☎63-1499
24	壺岐医院	内科・外科 小児科 満辺町有川812 ☎59-2627
31	徳永医院	内科・皮膚科 小児科 満辺町麓1009 ☎58-2302

※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。（原則として）

※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

二万円	下浜	増永 洋（義母イツメ）	三万円	下浜	山口善弘（長女直美三）
一万円	岩原西	藤野 巖（母 春子六）	三万円	岩原西	村岡節男（母 シナハ）
三万円	小鳥	菊池 進（母 チエハセ）	三万円	上浜	永田長吉（母 タケハ）
八万円	岩原東	野元笑美子（夫 茂七）	三万円	東ヒナバ	鹿屋アキ（夫 精次ハセ）
十万円	浜村	竹中モト（夫 嘉一九三）	二万円	岩原東	野元笑美子（夫 茂七）
三万円	長谷	富永正則（父 清八九）	三月二十日までの御寄付を掲載いたしました。		
五万円	永原	内村スカ（夫 直一八七）			
十万円	西諏訪	小濱國枝（夫 末雄八六）	おわびと記事訂正		
三万円	宮田ケ平	坂元政夫（母 タメウ）	三月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。（敬称略）		
五万円	端山	杉田和子（夫 富男六）	▽五ペー「加治木トビックス」		
三万円	岩原西	川原虎男（妻ヒデノハ）	▽六ペー「愛の献血功労者表彰」中		
			又木裕二 ↓ 祐二		